

# しまだ 議会だより

No.9

2月定例会

2007(平成19)年5月1日発行

発行 島田市議会

〒427-8501 静岡県島田市中央町1番の1

☎ <0547>36-7204

FAX <0547>37-2212

メールアドレス [gikai@city.shimada.shizuoka.jp](mailto:gikai@city.shimada.shizuoka.jp)

ホームページ [http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gikai\\_top.jsp](http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gikai_top.jsp)

## 目次

P 18	P 16	P 12	P 10	P 2
定例会概要&議決結果	討論&採決一覧	委員長報告	議案質疑	一般質問

### ■ 大津谷川堤防(高島地区)の桜

今年も4月の入学式の時期に満開の桜が咲き誇っています。



だいひょうしつもん

だいひょうしつもん

だいひょうしつもん

だいひょうしつもん

だいひょうしつもん

だいひょうしつもん

# 代表質問

## 7会派が市政を問う

### 体育館、温泉、病院をどうする



新生しまだ

なかのこうじ

中野浩二議員

**問** 伊太田代の温泉施設・老人福祉センター、(仮称)総合スポーツセンター、そして新病院の建設と、健康維持増進のための拠点施設の整備については、多くの市民が強い期待を寄せている。実現するための重要条件である行財政運営の見通しはどうか。また、新病院の建設は、経営形態を含め総合的な議論が不可欠である。今後、どのように進めていくのか。

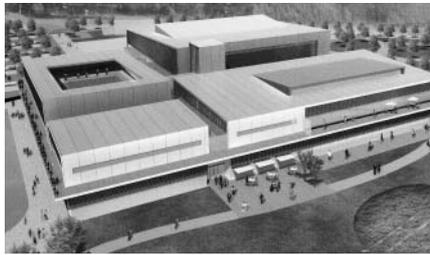
**答** 諸施設の整備に当たっては、事業費の適正化や合併特例債等の財政支援措置を活用するなど、財政の健全性と効率性に配慮した執行に努める。

くり座談会」の意見を合併市町村基本計画に反映させ、川根地区の地域資源や地域力を生かした大井川流域の一体的振興を図る。プロモーション事業については、スポーツ・文化の全国発信都市をテーマに掲げ、地域主導、官民協働によるフィルムコミッションの積極的展開やスポーツ合宿、大会誘致に積極的に取り組む。

### 合併！大井川流域の一体的振興は

**問** 市政運営の基本となる大井川流域の一体的振興を考えた場合、川根町の地域資源、地域力をどのように評価し、新市の建設と流域の一体的振興につなげていくのか、また、プロモーション戦略の考えは。

**答** 川根町での「まちづ



(仮称)総合スポーツセンター完成予想図

### 島田市の財政は大丈夫か!?

創和会

佐野義晴議員



**問** 市の財政状況をどのように分析しているか。また、川根町との合併後の新市の財政動向について見解を伺う。

**答** 財政は安定的に運営されている。合併しても財政運営に大きな影響はないと考える。

**問** 昨年の11月議会において、平成17年度の実質公債費比率17.5%、平成25年には約21.5%との答弁があった。その間の推移を伺う。また、市民に容易に理

解が得られる事業別財務諸表の公表はできないか。  
**答** 平成19年度には18%を超える。平成20年度までに連結、単独の財務会計表を公表したいと考えている。

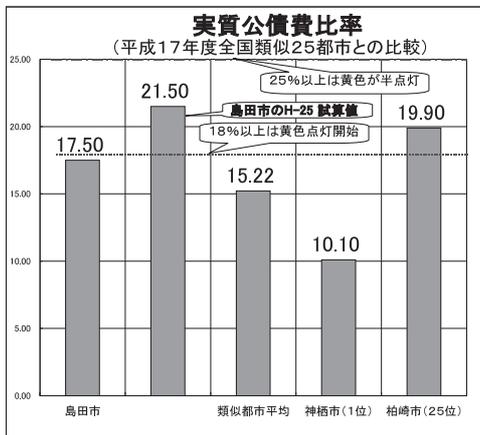
※「実質公債費比率」とは、収入のうちどのくらいの割合を借金返済に充てているかを示すもの。18%以上→「黄色の点灯開始」、借金する場合県の許可・外部監査が必要。25%以上→「黄色が半点灯」、一般事業などで借金が制限される。

### 茶業と小規模企業に明日はあるか!?

**問** 茶業は市の基幹産業と云うものの、茶農家は崩壊寸前の状態である。

状況打開に向けた取り組みを伺う。  
**答** ビジネス感覚を持った生産者を育成する。また、実情に合った経営や、生産基盤を改善する取り組みを関係機関と進める。

**問** 空港開港による農地保全と共生を図った土地利用の見直しの考え、また、企業の進出に伴う労働環境の影響はどうか。  
**答** 土地利用について、空港周辺地域は優良農地の保全を行い、活力ある農業地域の形成を基本としていきたい。また、企業進出により労働環境に影響がでる。関係機関、企業と情報交換をすると同時に情報収集を行う。



財務指標(実質公債費比率)比較表

# もつと就学援助制度の活用を



日本共産党島田市議員

さくらい ようこ

桜井洋子 議員

**問** 貧困と格差が広がる中、その家庭がどんな事情を抱えていても、子どもたちはみんな大切にされ、成長の可能性が阻まれてはならない。そこで、経済的に困っている小・中学校の児童生徒の家庭に、学用品費や給食費などを補助するのが就学援助制度だ。もつとこの制

度を活用すべきだが、①現在の支給の実態はどうか、②全家庭へ周知すべきだがどうか、③給食費の未納世帯にこの制度の活用を図るべきだがどうか。

**答** ①小学生251人、中学生は133人に支給しており、支給率は4・36%である。②全家庭への周知については、11月



小学校での給食の様子

下旬から12月初旬にかけて、各学校だよりに掲載しPRした。その結果、新たに4人の申請があり、効果があつた。③学校給食の未納世帯について、訪問徴収を行う中でこの制度の活用を図っていき

## 子どもの医療費の助成の拡大を

**問** 少子化のなか、子育て家庭の経済的負担を軽くする措置として、子どもの医療費の助成制度を拡大する自治体が増えて

いる。島田市では通院の助成は現在小学校3年生までだ。2008年から、国は3歳以上の未就学児の窓口負担を3割から2割に引き下げる。したがって、市の負担も軽減されるので、この財源を使い、助成の枠を6年生まで拡大すべきと考えるがどうか。

**答** 今年度、小学校3年生まで拡大したばかりであり、県内でも高いサージス水準にあるため、現時点では考えていない。

## 公園の整備状況は十分か！

清風クラブ

木野 慎吾 議員



**問** 都市公園の整備状況（配置と規模）はどうか。

また、都市公園の共用面積が県内23都市中23位（H17・3・31）となつているがどう考えているか。市営住宅跡地を公園にと

の市民の要望が多いが、当局の見解を聞きたい。  
**答** 全体的には一人当たりの敷地面積は10平方メートルで基準に達している。しかし、多くを大井川緑地が占めているため、市全体から見れば十分と

はいえない。配置のバランスもいいとは言えない。特に旧国道の北側は少ない。市営住宅跡地利用については、現時点では特定していないが、新しい市営住宅建設の原資としていきたいと考えている。

## 新築住宅助成金、住宅リフォームは続けるのか？

**問** 新築住宅助成金制度が木材需要促進事業に変わる。住宅リフォーム事

業は19年度も継続して実施することになっているが、20年度以降はどうなるのか、当局の見解を伺う。

**答** 住宅助成は景気対策等で実施してきたが、一定の役割は終えたと思つている。環境や森林資源を守るということで、木材需要促進事業に移行する。住宅リフォーム事業の要望が多いのはわかつているが、財源が厳しいので、20年度以降の予算措置は約束できない。



計画決定されている伊太谷川沿岸公園？

# 19年度、島田市の重点施策は？



公明党島田市議員

とみざわやすひろ  
富澤保宏 議員

**問** 地域における基幹病院としての使命と市民の安全・安心の期待を担う島田市民病院の今後のあり方を決めていくことは、市の将来を左右する重要課題である。市民病院は平成18年度、一般会計から5億5600万円の繰り入れがありながら、純損失予定8億9800万

円、19年度未処理欠損金は39億4000万円を見込んでいます。全国に約1000ある自治体病院の6割以上が赤字経営となっており、医師、看護師不足が深刻である。本年策定する総合計画に、まちの中心部に日常生活に必要な都市の諸機能を集中させることで、歩いて暮らせるまちづくりを目



新病院構想が策定される市民病院

指す「コンパクトシティ」の概念を有効に取り入れ、一日3000人を超す人の流れのある新病院を市街地に移す。これにより、中心市街地の活性化につなげ、増えすぎた近隣の自治体病院との連携強化で、役割分担を明確にし、病院経営の一層の強化を図るため、民営化も視野に入れた新病院の構想を図るべきだ。

**答** 市民病院のあり方等に関する懇話会の答申を踏まえ、19年度は将来を展望した病院のあり方を新病院構想としてまとめると。そのため、基礎資料の収集、住民ニーズ調査や患者動向調査等を行い、国の医療制度改革の動向を見据える中で医療関係者の意見を伺い策定を進める。

**問** 伊久身地区の光ファイバー整備の計画を。示せ。

**答** 県は22年度末までの計画としているが、早く進めるよう要望していく。

**問** 市営墓地公園整備の進捗状況を示せ。

**答** 新総合計画に沿い、候補地の選定を進める。

## 市駐車場の拡充は

政研21

おおつかしゅういちろう  
大塚修一郎 議員



**問** 市役所の駐車場が大変狭い。島田郵便局南側の職員駐車場に駐車場ビルを建てる計画はないか。

**答** 都市計画法による用途地域指定のため建設は不可能だが、職員駐車場は別の所に変更するなど検討をしたい。

**問** 教育再生会議について

**答** ①不登校児童の実態と、いじめの現状をどう

把握して、今後どう対処していくか。

②国の教育再生会議は7つの提案をしていて、その内の1つにゆとり教育の見直しがあり、また1つには地方教育行政の改正があるが、これらについての教育長の見解を求む。

**答** ①「不登校児童といじめ」の問題は数では減少しており、近隣他市と比べても決して多くないが、今後もそのような児童がなくなることを目指して努力を続けていく。

②「ゆとり教育の見直し」については、教育の実践において、教師が自らゆとりを持った教育を行っていくのが目標であり、質的な向上をもっと目指すべきである。また、公教育の社会的責任性においても、学力の保証と成長の保証を維持していかなければならない。「地方教育行政の改正」については、教育委員会は5人の委員で構成されているが、全員が同一条件下で編成されていないために、その実効性に問題が

あり、多くの課題を残しているが、できるだけ島田市教育委員会の独自性を発揮するよう活動していきたい。また、冊子「島田の教育」で掲げた目標の達成度や残した課題などを市民に説明できるように、ちまたでささやかに論じている教育委員会不要論に答えていきたい。



これからの学校は歩む道は？



# 少子化ストップ！



## 新自由クラブ

ふくだただお  
**福田正男 議員**

**問** 少子化対策と子育て支援について、3つの提案がある。1つ目は市役所内に子ども課を設置して子ども総合案内所のようなものを作り、子どもに関するあらゆる相談ができる課をぜひ作っていただきたい。2つ目は、子供基金の創設である。子育てにかかる経済的なコストを地域社会が負担して、市の予算をある程度上乗せし、子育て環境に積極的に取り組んでいる会社に助成していくなどの支援に充てていったらどうか。3つ目に人材育成である。島田市でも歩歩路に子育てサロンがあり、そうした子育てサロンをバックアップする人たを育成していただきたい。

**答** 子ども課を設置する案については、児童課が島田市にはあるので、児童課でやっていきたいと思う。子ども基金については、市内の企業の景気を考えて、寄付金を集めるのは非常に難しいと考える。人材育成については、現在でも保育園・幼稚園の民営化等で余った人材があるので、そうした人材を派遣する形にしてはどうかと考える。



子育て支援サロン (歩歩路)

# おび通りに 屋台村を！

**問** おび通りにぎわい活性化策について、完成間近となったおび通りに、にぎわいと交流の広場の活性化策として、屋台村を創設したらどうか。官と民で、このにぎわい創生のためのプロジェクトチームを作り、いろいろなソフト事業を提案していったらどうかと思うがいかがか。

**答** 屋台村の案はいいことと思うが、常設して屋台村をおび通りでやっていくことは難しいと思われる。官民一体となったプロジェクトを設置していくことについては、提案を含め、今後、検討していきたいと考えている。



# 個人質問

10人が市政を問う



## 一人暮らしの高齢者を守れ！

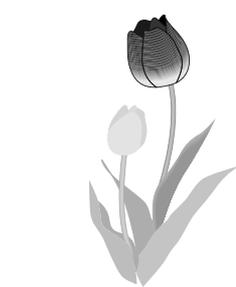
はしもと きよし  
**橋本 清 議員**

**問** 核家族化や平均寿命などの上昇により、一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯が増えている。そうした中で、介護保険サービスなどの大掛かりなサポートではなく、一人暮らしの高齢者のちょっとした困りごとのニーズに対応した支援サービスが求められている。そこで高齢者の生活上の困

**問** 国における平成19年度の妊産婦健康診査も含めた少子化対策の総額が拡充された。今まで公費による無料健診はおおむね2回程度であり、かねてから助成回数引き上げが望まれていた。市として、若い世帯の負担軽減を図る意味で、国で示されたように5回以上に

りごと相談や見守りについでに現状と対策を伺う。**答** 相談については地域包括支援センターが窓口となり対応している。また、高齢者等緊急通報システム事業、ふれあいコール事業や配食サービス事業において安否確認を実施している。来年度においてはそれぞれ地域においてどのような高齢者がいるか実際に調査をかけた検討をしていく考えである。

## 妊産婦無料健診の拡大を！



保健福祉センター内の地域包括支援センター

拡大することはできないか。**答** 国が最低限度とした5回の公費負担を行った場合、現在の予算より2千万円多くなる。今後、関係市町と歩調を合わせの中で、無料健診の回数をふやすことについて、平成20年度以降に検討していきたいと考えている。

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

# 島田市の農業政策を問う



くればやし  
みつぐ  
**紅林 貢**  
議員

**問** 島田市の農業政策の基本はなにか。

**答** 農業が魅力とやりがいのあるものとなるよう農業経営の確立を図るとともに、地域の農業生産を中心的に担う経営体を育成し、農業の持続的な発展を目指すことを基本としている。

**問** 農業後継者の育成はどんな考え方で望むのか。  
**答** 企業的な経営感覚をもって意欲的な経営を行う農家や、組織などの農業事業体を地域農業の中心的な担い手として育成する。また、将来の担い手となる新規就農者を支援し、人材の確保を図る。



管理の行き届いた市内の茶畑

**答** 島田市の農業振興地域整備計画は、川根町との合併後、新市の国土利用計画や総合計画等と整合を図り、平成21年度をめどに定期変更により見直しを行う。

**問** お茶がंबरる課は、茶業関係者からどのような声  
**答** 島田市の農業振興地域整備計画は、川根町との合併後、新市の国土利用計画や総合計画等と整合を図り、平成21年度をめどに定期変更により見直しを行う。

**問** 昨年の夕張市の財政破綻は全国に衝撃を与えた。夕張には特殊な事情もあったが、国・地方とも多額の債務を抱え、人口減少や少子高齢化、税収の伸び悩み、国からの交付金・補助金の減といった状況はどの地方都市も同じであり、住民は日常生活や老後の先行きに大きな不安を感じている。税収・交付金などの収入が先細りする一方、医療・介護など社会保障に

# 先を見据えた責任ある財政運営



かわらざききよし  
**河原崎 聖**  
議員

**問** 関する出費が急激に増加するのが確実な中で、これを乗り切っていくには先を見据えた計画的な財政運営が求められるが、市では歳入・歳出・基金など主なものについて、今後10年間の見通しをどのように立てているのか。  
**答** 伊太の温泉施設などの大規模施設は、今の時点で着手する必要があるのである。

**問** 地方財政制度の変化が激しい時代にあつて、長期的な見通しを立てることは困難な状況にあるが、義務的経費の扶助費は年率3%程の伸びを想定し、起債は元金償還額の95%以内に抑え、基金は財政調整基金と減債基金の合計額20億円を維持する方針である。伊太の温泉施設は、ごみ焼却施設建設の際の地元との合意事項であり、市民の健康を保持するためにも必要な施設と考えており、また財源については合併特例債を利用する予定である。その他の施設についても、国の補助金を活用するなど工夫しており、市財政への負担は小さいものと考えている。



伊太田代の温浴施設建設予定地

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

# 合併前の住民レベルの交流推進



むらたちづこ  
**村田千鶴子** 議員

**問** 合併への機運を高め新市への円滑な移行を図る上で、合併前から住民相互の交流の場をつくることこそ融和の近道であると考えます。事務事業の一元化と同様に、お互いの住民が「合併してよかった」と言えるような土壌づくりが大切であると考えるがどうか。

**答** 「島田市・川根町フレンドシップ委員会」をつくり、この事業には幅広く両市町の住民の参加をお願いしていく。また、民間主導による交流事業を行う場合、行政でなければできない施設への連絡等、積極的に協力支援したい。

## 広域多目的ドームの展望

**問** 昨年、「島田ドームと鎌塚橋を実現する会」が12万5千人余りの署名を集めて、県に要望書を提出した。市民は、その後の状況を注目している。

昨年、「島田ドームと鎌塚橋を実現する会」が12万5千人余りの署名を集めて、県に要望書を提出した。市民は、その後の状況を注目している。空港の玄関口として平成20年3月に南口駅が開設し、災害道路の核として設置されたリハビリがある駅南地域に、空港の需要を高めるためにもコン



フレンドシップ・コンサート2007の練習風景 (島田、川根)

ベンシヨンホールと防災機能を備えた施設を誘致すべきと考えるがどうか。

**答** 19年度は市として想定される候補地やあるべき施設の機能、規模等についての調査検討を行い、これを基本構想提案書としてまとめ、県に対して提案していく予定。県事業であるが、今後も民間の熱意が重要であり民主導の中で支援していきたい。

**意見等** 将来、施設管理が市の財政負担にならぬように慎重な対応を望む。※以前提案した島田市男女共同参画推進条例化に伴い、標語を公募し、市の封筒に印刷して広報することにについては、県との調整を図りながら検討したいとの回答があった。

## 金谷清水町の交差点に信号機を！



すぎむらようせい  
**杉村要星** 議員

**問** 昨年4月に市道東町番生寺線が開通したことにより、金谷清水町内で県道住吉金谷線と交わる交差点ができたが、この交差点では開通直後から車同士による出会い頭の衝突事故が頻繁に発生している。6月から市道側が一旦停止になったがあまり効果がなく、それ以降も依然として事故が多発している。そこで抜本的な対策として、信号機の設置が早急に必要と考

えるが市の対応はどうか。

**答** 市としても信号機の設置は急務と考え、これまで公安委員会に要望を行ってきたところ、公安委員会から平成19年度の早い時期に信号機を設置するとの回答を得ている。

## 金谷牛尾草島地区の土地活用を！

**問** 牛尾草島地区は大井川堤防が無堤防であったが、昨年、立派な堤防が整備され、併せて6mの側道も付けられた。この地区は①周りに民家がな

いこと、②水資源が豊富であること、③第二東名(仮称)金谷インターに近いこと、などから工場用地に非常に適した場所である。また、農業振興地域に指定されているが、農振除外の可能性もかなり高いと思える。そこで市は積極的に工場用地化を図るべきと考えるがいかかか。

**答** 市では19年度から新たな工場用地を確保すべく基礎調査を行い、具体的な候補地の選定を行っていく予定である。当該地区も調査対象箇所として検討していきたい。



金谷清水町内の事故多発交差点

# 中心市街地の活性化策は!!



たけしましげよし  
竹島茂吉 議員

**問** 一・中心市街地のにぎわいの現況をどう把握し、活性化策をどう進めていくのか。

二・市行政への商工会議所からの要望「まちづくり三法を活用した計画的なまちづくり」に対する回答は。



おび通りで活性化するか

三・①しまだ楽習センターが移転すると聞くがその後は。②おび通りが完成するが息道で分断される。横断歩道の幅を含めた一体的な整備は。③元ジャスコタウンの所はゴーストタウンの状況となっている。どう対処するのか。④本通り6、7丁目の街路整備は。⑤中心市街地活性化協議会組織化の動きに対する支援は。

土地区画整理事業完了とおび通り周辺の新たなまちづくりの動きを出発点に、地域住民や商業者と協働したにぎわい創出に努めたい。

二・大店立地法に基づく地域住民、消費者、商業者等の意見聴取の機会を設ける。中心市街地活性化への土地利用誘導策は総合的な見地から検討する。商工会議所、まちづくり会社の空き店舗活用事業実施への支援を行う。

三・①しまだ楽習センター移転後の活用については承知していない。ビル活用の具体的な相談があれば支援を検討する。②島田警察署長あてに地元各種団体で横断歩道拡幅の要望をする。③元ジャスコタウンのビル会社地権者等の調整と活用が見えてくれば支援を検討する。④現状幅員14mで、20mの都市計画決定をされているが、当面、事業実施計画はない。⑤組織化のことについては承知していないが、そうした動きが出てくれば支援を検討したい。

# 高齢者福祉の充実を!



なかだゆうこ  
仲田裕子 議員

との連携に努めていく。

**問** 高齢者の孤独死や自殺、介護疲れによる犯罪といった悲劇を未然に防ぐためにも、65歳以上の高齢者については本人了解の下に実態調査を実施し、高齢者個人台帳として整備すべきである。

本物の味を知ってもらいたい。当市の基幹産物であるお茶には、深い歴史と文化があり、礼儀とマナーが学べ、人と人を和ませるいやしの効能もあり、一服のお茶がもたらす教育的効果は図り知れない。お茶の入れ方教室を「お茶がんばる課」の事業として取り組むべきである。市の考えを問う。

**答** 子どもの頃から本物の味を知り、お茶に親しむことは重要と考える。今後、教育委員会や茶業関係者と検討したい。

# 本物のお茶の味を知ってほしい

**問** お茶のまち島田に育つ子どもにも、リーフ茶の



リーフ茶で本物のお茶の味を

**問** 自宅等を担保に生活資金を貸し付ける、リースモーゲージ制度や、成年後見人制度の普及・啓発とともに、島田市独自の任意後見人制度の導入の考えを伺う。

**答** リバースモーゲージ制度は、自立を支援する手段であるが、市独自の制度導入は考えていない。成年後見制度や任意の成年後見制度については、候補者の紹介などを行う(社)リーガルサポート等

こじんしつもん

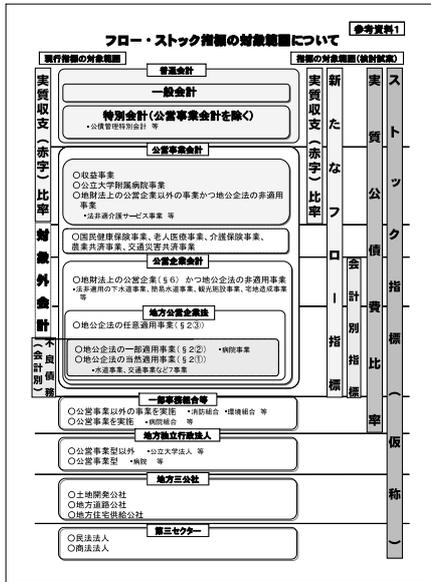
こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん



財政運営上の参考指標

**問** 島田市の財政は危機的な状況ではないのか。実質公債費比率が18年度は18%、21年には21.5%だと答弁があった。実質公債費比率とは一般会計のほか特別会計や水道、病院の企業会計も合わせた借金の比率で、18でイエローカードといわれている。この状態で体育館を新築、大きな温

泉施設建設、そのほか六合公民館、初倉地域総合センター、島田駅南口、給食調理場と、それぞれ起債をして建設をするという。新病院建設も考えているようだが、後年度の税収見込みを、どう読みたいと財政運営をしていくのか。積極的な投資を行うだけの収入の担保というのがあるのかどう



津田恵子 議員

島田市の財政運営が心配です。

なのか。

**答** 財政について従前以上に関心をいただくことは、財政民主主義の観点からも望ましいことだ。夕張市の問題があって、類似の団体がまだほかに債権団体に近いようなところがあるわけで、全国的にも関心が高まっている。これからの分権時代の市政運営では、ややもすると国の方針自体が遅きに失したところもあったのではないかと反省もある。議論自体は、今後とも活発にやっていたことは結構だが、島田市は少なくとも夕張のような状態ではない。しかし、懸念されるようなことについての意識、チェックは常に、国からコントロールも従前以上に強く働くであろうし、我々自身がセルフコントロールとしてやっていかなければならない。

**問** 合併後、金谷地区の住民から合併を評価する声が聞こえてこない。そこで行政サービスの向上の観点から何う。①乳幼児健診を以前のように金谷支所でも実施すべき、②島田と金谷を結ぶコミュニティバスの路線を開設すべき、③金谷支所三階の大・小会議室、健康相談室など各部屋を、市民の利用にこたえるよう有効利用すべき、④金谷支所は耐震補強をして金

合併で金谷の行政サービスは？

まつもと さとし 議員 松本 敏



谷地区の中心施設として存続すべきだ。  
**答** ①乳幼児健診は島田の保健福祉センターの1カ所で行き続き行う。②島田と金谷を結ぶバスはバス事業者との調整があるが検討する。③金谷支所三階は現在有効利用している。④金谷支所は耐震補強でなく、ほかの場所に移転を含め検討する。

の水道料金に影響を与えている。市独自の水源に余裕があるのに企業水が約25%を占めている。したがって地下水くみ上げの増加、企業団の融通水量の増加で、企業団受水量を減らし経費の節減を図るべきだ。  
**答** 企業団からの受水量は日量8千トンだが、構成団体との約束事であり変更できない。水の安定供給のため受水は引き続き行う。水が足りない大井川右岸の自治体に融通する量は、自治体が必要とする全量を融通する予定だ。

市独自の水源を有効利用すべき

**問** 大井川広域水道企業団からの水は1トン当たりの単価が高く、島田市



市民の生活水を作る浄化施設(稲荷町の浄水場)

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

# 学校図書は整備されているか



はらき  
しのぶ  
原 忍 議員

**問** 文部科学省は学校図書標準の標準冊数を整備することを目標に、平成14年度から地方交付税措置をしているが、このことが反映されていたか。

**答** 反映したものとっている。平成19年度の整備費は、小学校1学級2万7000円、総額58万4000円・中学校1学級3万9000円、総額329万5000円となっている。

**問** 平成17年度の図書標準達成率は。

**答** 小学校は99%、中学校は69%となっている。(平成18年度で小学校は100.2%、中学校は83%)



金谷小学校図書館

**男女共同参画推進の拠点整備は**

**問** 男女共同参画の推進は、わが国社会全体の重要課題であり、現在、2000年プランに基づき

各省庁において、各種施策が進められている。鳥田市の条例制定、施行の時期はいつか。

**答** 平成19年6月議会に議案を上程予定で、議決されれば7月30日に施行していきたい。

**問** 条例を作っても行動が伴わなければ絵に描いた餅になってしまう。拠点整備が重要な課題と思うがどうか。

**答** 窓口の整備は決まっているが、ハード的な整備については、今後の課題だと思っている。

# 議案に対するQ&A

## ★市立幼稚園の無償譲渡について

**問** 現在の資産評価額はいくらか。無償譲渡する理由は。

**答** みどり幼稚園は3720万円、六合幼稚園1億590万円、少子化の中で幼稚園経営というのは非常に厳しい状況であり全国的な例を見ても土地は無償貸与、建物設備は無償譲渡が基本的な進め方となっている。

## ★木造需要促進事業奨励金について

**問** 木造需要促進事業奨励金について、事業目的と事業要綱は。

**答** 大井川流域産材及びその他静岡県産材の利用促進をし、森林環境の保全を図る。住宅の床面積が50㎡以上を対象とし、建材の使用総量の45%以上が大井川流域産材または静岡県産材を使用していること。大井川産材を使用した場合、㎡当たり6000円、60万円を限度とする。静岡県産材は平方メートル当たり5000円、60万円を限度とする。奨励金の支給は額面10000円の金券で交付する。

## ★曲の取り扱いについて

**答** 4月に市歌選考委員会を開催し6月から広報紙やホームページ等で7月まで公募を予定している。応募された作品を選考委員会で選び作曲家に補作を依頼する。曲については著作権の問題があるが、それらをクリアできれば旧島田市のものを活用したい。

## ★職員の退職者について

**問** 一般会計管理費の退職金2億3413万1000円について、退職者数は何人か。

**答** 定年退職7人、勲奨退職11人、普通退職3人、合計21人の退職となる。定員適正化計画により5年間で63人の職員を減らす。19年度は5人の新規採用にとどめている。

## ★市歌制定のスケジュールと公募方法について

**問** 市歌創作の検討と制定までのスケジュールについて、歌詞の公募方法

## ★国税滞納件数について

**問** 国税滞納件数はどれくらいか、短期保険証、資格証明書の発行件数はどれくらいか。

**答** 国税滞納件数は平成17年度現在、平成17年度以前の滞納繰越分に係る滞納実世帯からとらえた件数は2821件となっている。短期保険証、資格証明書の発行件数は本年1月現在、短期保険証が526件、資格証明書が42件となっている。



市議会議場・本会議の様子

★市民病院診療費の未収金について

**問** H19年度島田市病院事業会計予算について、診療費の未収金はどのようなどき発生するのか。未収金と欠損額は年々増加しているのか。回収についてはどのような方法をとっているのか。

**答** 未収金の発生原因は入院費が高額なために一

度に支払えない交通事故とか急な病気でお金を持たずに緊急来院した場合、生活困窮で医療費が支払えない場合、あるいは診療に対して不満があるとき、また診療後行方不明があるときに未収金が発生する。平成18年度の未収金の見込みは年々1500万円程度増加していて残高が8500万円程

度になる。回収方法は正規職員1人、嘱託員2人でやっている。来院した時は面談して催促し、市内や近隣の市町の未納者には訪問して、また遠方の未納者に対しては電話、郵便での督促を行っている。

★ヘルスアップ事業について

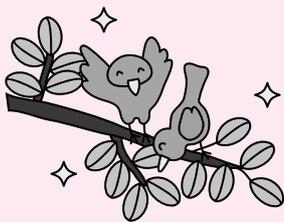
**問** ヘルスアップ事業について、事業内容と委託先について伺う。

**答** 平成19年度のヘルスアップ事業は、平成20年度から始まる特定保健指導の準備事業として位置づけされている。40歳から64歳までの国民健康保険被保険者でメタボリック・シンドロームの該当者及び予備軍を抽出し、被保険者が自主的に健康づくりや疾病予防を行うことを動機づけ、これを支援していくものである。委託先については自前で行う部分と委託する部分の選別を行って、明確になった後で決定していくことになる。

★広域多目的ドーム等整備促進事業について

**問** 事業内容は何か。用地の確保のめどはあるのか。署名活動での総括はどう生かされたのか。

**答** 想定される候補地やあるべき施設の機能、規模について調査検討を行い、これを基本構想提案書としてまとめていく。用地のめどとして平成19年度は想定される候補地の絞り込みを行っていく。署名活動の総括では、12万5000人余りから賛同をもらい、県に市民の熱意を十分伝えることができたと考え、その結果、県の計画の中に反映されたとと思われる。



★H19年度介護保険事業特別会計予算について

**問** 予算額全体が9.2%増となった理由は、また今後の見通しについて伺う。

**答** 高齢者人口の増加とともに、要介護認定者も増加し、介護給付費も年々増加している。平成18年度には介護付有料老人ホーム44床が開設され、特別養護老人ホームやグループホーム等の施設整



建設中の特養老人ホーム「かなや」

備を計画しているため、対前年度9.2%の増となった。

高齢者人口は今後も増加が予想され、平成27年には4人に1人が高齢者になると予想される中、市は平成19年度には特別養護老人ホーム50床、認知症対応型共同生活介護2ユニット、認知症対応型通所介護20人の整備を計画し、平成20年度には特別養護老人ホーム100床の整備を計画している。

# 民生病院常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。  
主な審議内容は、次のとおりです。

## ☆H18 一般会計補正予算

### ○市立保育園国民営化事業

**問** 新しく建設されるあさひ学園の給食はどこから受けることになるか。  
**答** 新第二保育園から給食を受けることになる。  
**問** 今後、施設の北側に

建設が予定されている給食センターから給食を受ける予定はないのか。  
**答** 新第二保育園との間で基本的な合意がされており、将来にわたって給食を提供してもらう予定でいる。

**問** (仮称)子ども総合支援室の体制は。

## ☆H19 一般会計補正予算

### ○環境計画進捗管理経費について

**問** 平成15年度に環境基本計画を策定したが、見直しはいつ行うのか。  
**答** 平成19年度の見直しを予定していたが、川根町との合併後に見直しをする予定である。

### ○コミュニティバス運行管理経費について

**問** コミュニティバス運行についての要望は何件ぐらい出ているか。  
**答** 五和地区周辺や、はなみずき通りに走らせてほしいという要望など、計4件が出されている。

**問** コミュニティバス運行についての基本的な考え方を市では持っているか。

**答** コミュニティタクシーも含めた全体的なコミュニティの運行の考え方を、平成19年度中に固めたいと考えている。  
**○民生委員・児童委員活動事業について**  
**問** 平成19年度に高齢者台帳を整備していくというのだが、調査はどのように行うのか。  
**答** 個人情報への配慮から、対象者から希望を聞く中で台帳整備をしていきたいと考えている。  
**問** 自主防災との兼ね合いの中で、町内会へは情報を提供していくのか。  
**答** 台帳整備後は民生委員・児童委員へ情報提供をしていきたいと考えている。町内会への情報提供については、今後、検討していきたい。  
**○敬老事業について**  
**問** 予算が減額となった理由は。  
**答** 77歳の人たちに対して敬老祝い品を贈ることをやめたことによるものである。



造成工事が進む芹用地

### ○放課後児童クラブ運営事業について

**問** 伊太や相賀などの小規模校の放課後児童クラブは、どのようにしているのか。  
**答** 今のところ、六合小学校や五和小など、大規模校を中心に施設整備をしていく予定となっている。小規模校については、まだ予定が立っていない。

**問** 病院の経営をよくするため、どのように進めていこうとしているのか。

## ☆H19 病院事業会計予算

**答** 病院では、昨年出された市民病院のあり方等に関する懇話会の答申を進めているところである。その中で、①入院診療単価を3万7000円から4万円程度に上げていく、②人員配置の見直しを行い、給与比率を55%以内に持つていく、③委託契約等の見直しをする中で、全体経費の医療収入に占める割合を9%程度まで下げていく。このようなことを中期の目標として進めていく予定である。



市民の足コミュニティバス

# 経済建設常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。  
主な審議内容は、次のとおりです。

## ☆H18 一般会計補正予算

### ○債務負担行為補正

**問** 交通誘導員配置委託について平成19年度に横井中央線JRアンダー工事に関わる交通誘導員配置委託のために債務負担を行うと説明があった。交通誘導員の人数、配置時間はどのようになるのか。

**答** 通称イナズマガードには2人を毎日午前6時から午後10時まで配置する。原坪踏み切りには各学期の最初の1カ月、学童の登校時と下校時の4時間について誘導員1人を配置する。

## ☆H19 一般会計予算

### ○高齢者雇用促進経費

**問** 補助対象事業の内容について説明を求める。



建材に加工中の大井川流域産材

**答** 島田市シルバー人材センターへの補助金であり、作業受託、新規事業の開拓、事業の普及、会員へのあっせん事務に対応し補助している。また、定年退職者が増える中でシルバー人材センターの会員希望者が多くなり、仕事内容の充実、事業開

拓が大事になってくると思う。

### ○茶振興事業

**問** お茶がんばる課はどのような方針で行うのか。

**答** 基盤整備や茶園改植の問題などさまざまな声を聞いている。評価の高い茶のマニユアルづくり等意見を聞きながら進める。

### ○木材需要促進事業

**問** 大井川流域産材の年間伐採量、販売量を把握しているか。

**答** 大井川流域産材として大枠で把握している。静岡県と静岡県木材協同組合連合会の販売管理票により地域が特定できるので、この制度を利用して事業を実施していく。

### ○おび通り活性化事業

**問** 整備した広場をどのように活用していくのか。

**答** おび通り南側広場はイベント等に活用してもらおう。地域住民や事業者団体等と協議し、おび通りとともに活用してもらいたいと考えている。



おび通りの南側広場

### ○横井中央線整備事業大津通・中河町区について

**問** 用地取得面積は約3400平方メートル、概算総事業費は約15億円、事業年度は平成19年度から25年度を予定しているとの説明があった。店舗については他の場所に仮店舗を設けてから移転す

るのか。

**答** 区画整備事業の場合には仮店舗に出てもらうが、街路事業の場合は移転場所に建築するまでは、現在の場所で販売をやってもらう。全体にかかってしまう場合には、営業補償等により対応する。

# 総務教育常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。  
主な審議内容は、次のとおりです。

## ☆財産の無償譲渡

### ○民営化幼稚園への財産無償譲渡は

**問** みどり幼稚園と六合幼稚園の移管先法人に対する建物・備品等の無償譲渡について、財政難の

折、有償とするか、もしくはしばらく貸与として様子を見た方がいいのではないか。

**答** 建物等を無償という条件で移管先を募集しており、また、県が学校法人を認可するに当たり、



六合幼稚園

建物は自己所有でなければならぬことになっていくため、無償譲渡としては、なお、譲渡に際しては、契約で他の用途への転用禁止・抵当権の設定の禁止・経営できない場合の市への返還などが規定される。

## ☆H19一般会計予算

### ○市民が納得のいく市歌の制定を

**問** 新しい市歌について、当局からの説明では、市民への浸透度や製作にかかる期間・経費などを考慮して行政内部で検討した結果、曲を旧島田市歌のものとし、歌詞だけ公募するという方針が示された。しかし、本来広く市民に諮るべきで行政だけで決めるべきことではない、旧島田市歌は金谷

地区の住民には全くなじみがないのではないか。  
**答** 曲の取り扱いについては今後の課題とさせていただきます。

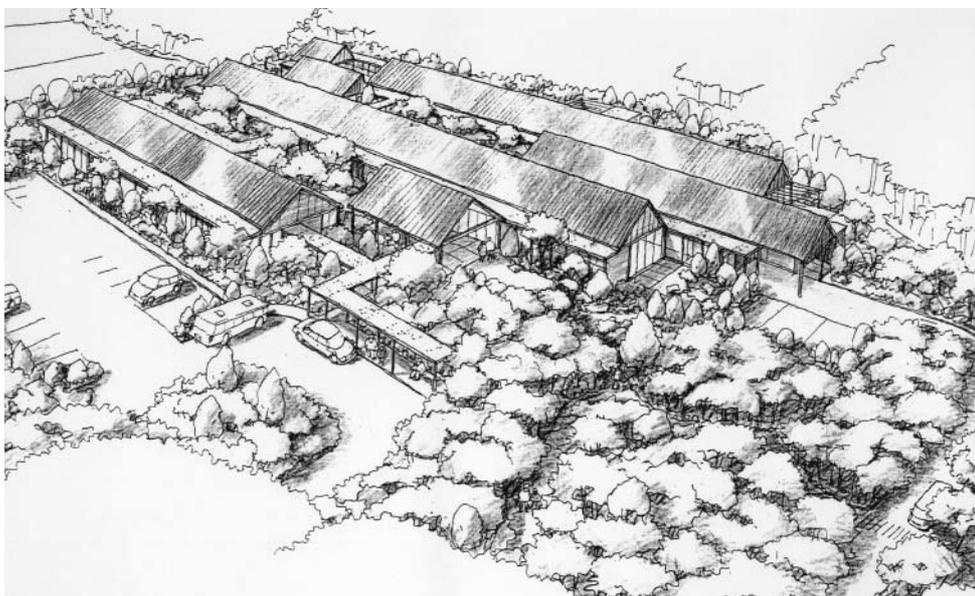
### ○温泉施設建設は妥当といえるか

**問** 建設の理由とされる地元との覚書の内容を確認したところ、地元から老人福祉施設の建設を望む要望が出されたのに対し、当局側からは一般の人も利用できる温浴施設の整備とスポーツ施設の検討を提案したものであるとのことであった。この施設は指定管理者になることを希望している地元の人たちにとっては手に余る規模ではないか。

**答** 地元の努力は高く評価しているが、選定の段階で能力的に無理と判断すれば委託できない。

**意見** その他、川根温泉と施設が重複し客の取り合いになるのではないか、実質公債費比率が高い今の時点でこの事業が出てくるのは問題がある、事業費全体を縮小すべきで

はないか、施設につながる道路の整備が不十分ではないか、などといった意見が出された。



伊太田代温泉の完成予想図

# 今議会で使われた話題の用語について！

## ○フィルム・コミッション

映画、テレビドラマ、CMなどのあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるために、さまざまなサービスを提供する窓口機関です。

サービスの内容は、舞台となるロケーションの

情報提供、エキストラの募集、撮影許可申請のサポート、そして宿泊や食事などの紹介などで、撮影のしやすい環境を作ります。

島田市では、島田商工会議所青年部が運営する「フィルムサポーター島田」

が中心となって地域活性化の一環として映画、TVドラマ等の撮影協力を行っています。ロケの撮影協力は、島田を全国にPRするよい手段ととらえ、この地域の名前と魅力を全国に発信しています。

## ○リバース・モーゲージ

リバース・モーゲージとは、高齢者が居住する住宅や土地などの不動産を担保として、一括または年金の形で定期的に融資を受け取り、受けた融資は、利用者の死亡、転居、相続などによって契

約が終了した時に担保不動産を処分することで元利一括返済する制度です。住宅処分の形態で当該不動産を担保とする「担保型」と売買で所有権移転する「権利移転型」に分類される。米国型は、

HECMなど「担保型」で、フランスはビアジェに代表される「権利移転型」となっているが、日本では、米国型と同様に「担保型」になっています。

## ○ヘルスアップ事業とメタボリックシンドローム

国保ヘルスアップ事業とは、生活習慣病を予防・改善するための「個別健康支援プログラム」を、各市町村で開発・実施し、その有効性を調べ確認するものです。この生活習慣病に関係

する肥満症や高血圧、高脂血症、糖尿病などは、それぞれが独立した別の病気ではなく、肥満、特に内臓に脂肪が蓄積した肥満（内臓脂肪型肥満といいますが原因であることがわかってきました。

このように、内臓脂肪型肥満によって、さまざまな病気が引き起こされやすくなった状態を『メタボリックシンドローム』といい、治療の対象として考えられるようになってきました。

## 「島田市議会政務調査費の交付に関する条例」が改正されました。

### （改正の理由）

これまで島田市議会の政務調査費については、地方自治法の規定に基づき、議員の市政の調査研究に資するために必要な経費の一部として、「議会における会派及び会派に所属していない議員」に対して政務調査費を交付してきたところです。

今回の政務調査費に係る条例の改正に当たっては、昨今の財政状況を考慮するとともに、議員が調査研究を行うに当たり、

### 政務調査費をさらに有効かつ効率的に活用していくことを目的に、その交付額を年額30万円から20万円へ減額するものです。

また、政務調査費の交付に当たって、これまでも政務調査費の用途及び透明性については改善してきたところですが、さらにその目的と責任を明確にするため、その交付先を「会派及び会派に所属していない議員」から「議員」個人へと変更するものです。

### 「傍聴席から」

今回の2月定例会では、一般質問など傍聴された方から貴重な意見や感想をいただきましたので、ここにそのいくつかを紹介させていただきます。

○本日、午前中の傍聴者の中に若い人が多かった。質疑の内容にもよるが、若い人が市政に関心が深いとの認識を持ちました。傍聴者の年齢層、男女別、質疑の内容との関連性など、行政への注目度（関心度）などについて、検討（把握）されたらどうか。

○家は茶農家ではありませんが、小さい時から茶葉で入れたお茶を飲ませ、子ども達を育ててきました。学校に「水道からお茶が出る機械」のお茶を飲んでも子ども達は納得するとは思えません。やはり茶葉で入れたお茶がおいしいと思います。

○傍聴席を改造する必要がある。5人掛けくらいにし通路も設けるべき、また当面、両端（左右）に通路を設置し、出入が便利となるようにすること。また、前席との間を広くする事。

# ザッ 討論

賛成  
結果は17ページ  
↓  
反対

## ○平成18年度一般会計補正予算

反対討論

第二保育園の民営化のため、移管先法人に交付する予算に反対する。公設保育園は保育内容や保育士の賃金で民間保育園の基準となる役割を果たしており、それをなくそうとするのは島田市の保育行政にマイナスだ。公設と民間との共存こそが大切である。また、新たにスタートする静岡県後期高齢者(75歳以上の人)の医療制度の保険料徴収のための電算システム開発予算に反対する。国保のように島田市議会や市民が関ることがなくなってしまう。保険料の全国平均は一月6200円と高い予想だ。すでに年金からの天引き、短期保険証や資格証明書の発行など問題は多い。

賛成討論

今回の補正は、歳入歳出予算にそれぞれ5億938万4000円を追加し、予算の総額を308億9886万7000円とするものである。補正の主な内容は、民生費で、社会福祉法人「五和会」が実施する園舎建設事業費の一部を補助するとともに、心身障害児通園施設の建設事業費が計上されている。また、平成20年度から後期高齢者医療制度の施行に向けて、保険料賦課徴収システムの開発に係る委託費を計上している。土木費で、平成19年度末における供用開始に向け、駅周辺整備について、自由通路整備事業費の増額を行っており、いずれも必要な予算措置であると考える。

## ○財産の無償譲渡について (公立幼稚園2園)

反対討論

公立のみどり幼稚園、六合幼稚園を平成19年4月から民営化するに当たり、園舎及び付属建物並びにプールをそれぞれの学校法人に無償譲渡することは容認できない。また土地も無償で貸し、遊具・備品も無償譲渡で至れり尽くせりだ。市は、公的責任をなげうって民営化をコスト削減の目玉にしている。しかし、財政の厳しさを問題にしなから、実は幼稚園の民営化を支えるための保育料や運営費の補助など財政支援が目白押しで、コスト削減の保障はない。2万3000人の署名に託された、公立幼稚園存続の保護者や市民の願いを無視したやり方は、とうてい認めることができない。

賛成討論

市の民営化政策として、第四保育園の例からも無償譲渡を基本としており、幼稚園についても移管先を公募する際の条件としている。新幼稚園に経済的な負担を軽減させ、安定的な経営を保障するための措置である。幼稚園の民営化に関しては、さまざまな意見交換、説明会、議論を重ねてきた経緯がある。原点は、幼稚園に通う園児の心身の安全を守ることであり、保護者が安心して預けることができる信頼関係こそ重要であると考える。これらのことを踏まえ、永きにわたって運営を継続していくために無償譲渡は適切なものと考ええる。

## ○平成19年度一般会計予算

反対討論①

市長は「伊太田代の温泉施設の建設に着手、総合スポーツセンターの建設の準備、新病院の建設の準備、多目的ドーム実現の取り組み」を打ち出した。『箱物行政を懸念する意見があるのも承知している・・・』と言いつつ推進するのは容認できない。市民の福祉、教育や行政サービスを削る一方、多額の税金を投入する大型建設事業の準備の予算だ。例えば敬老祝品の予算は、前年度比47%と半分以下だ。これは祝い品を送る人数が圧倒的に多い77歳を廃止したからで、お年寄りの苦労をねぎらうのは行政として当然で冷たい市政だ。また、合併後の金谷地区に対し、行政サービスの縮小による島田への一体

反対討論②

化の促進と、川根町の編入合併の準備の予算になっている。今後の市の財政を考えれば合併推進は容認できない。本予算は大型事業の頭だし予算だ。田代の郷整備計画約20億円のうち約4億円、体育館、プールの建て替え約25億円のうち8000万円、学校給食共同調理場新築約10億円のうち3000万円、新病院建設予算、100億円を超えるといわれているが、基本構想策定1000万円と本年度の費用は少ないが、後が怖い予算である。また、幼稚園民営化では私立幼稚園に園舎を無償であげ、補助金を3年間300万円ずつ、園長



を市の予算で六合学園に派遣する。それは市民の税金で、私立の学校法人に利益をもたらすものである。本予算は桜井市長の夢と希望を織り込んでいるが、平成21年以降の財政を考えると未来の市民の悪夢とならないよう、長期的財政計画をたて、市民にその負担の重さを示した後、規模の縮小や事業の先送りをすべきだ。

**反対討論③**

税収や地方交付税など、国からの資金が先細りし、医療・介護など社会保障にかかる費用が急激に増加するのが現実な上に、現在においても警戒領域といわれる実質公債費比率18%を越えている中で、裏付けのある計画的な財政運営が行われていると判断できる材料が乏しい。また、伊太の温泉施設については、財源とされている合併特例債の交付税措置7割というのは、実際にはリスクが高いと考えられ、現下の状況ではもともとの地元からの要望であった老人福祉施設

**採決結果一覧 (賛成反対が分かれたもの)**

○=賛成 ×=反対			平成18年度一般会計補正予算	財産の無償譲渡(みどり幼稚園)	財産の無償譲渡(六合幼稚園)	平成19年度一般会計予算
◎会派名 新生=新生しまだ 創和=創和会 志士=志士の会 自由=新自由クラブ 政研=政研21 清風=清風クラブ 公明=公明党島田市議団 共産=日本共産党島田市議団 無=無会派						
氏名	会派名					
平松吉祝	新生		○	○	—	○
曾根嘉明	新生		○	○	—	○
河原崎聖	無		○	○	○	×
津田恵子	無		×	×	×	×
仲田裕子	無		○	○	○	○
村田千鶴子	新生		○	○	○	○
杉村要星	新生		○	○	○	○
大塚修一郎	政研		○	○	○	○
坂下修	志士		○	○	○	○
原木忍	清風		○	×	×	×
橋本清	公明		○	○	○	○
桜井洋子	共産		×	×	×	×
福田正男	自由		○	○	○	○
佐野義晴	創和		○	○	○	○
飯塚栄一	創和		○	×	×	×
中野浩二	新生		○	○	○	○
竹島茂吉	新生		○	○	○	○
大池幸男	新生		○	○	○	—
酒井濟	政研		○	○	×	×
松田和克	志士		—	—	—	—
木野慎吾	清風		○	×	×	×
富澤保宏	公明		○	○	○	○
松本敏	共産		×	×	×	×
小澤嘉曜	自由		○	○	○	○
紅林貢	創和		○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。(議席順。敬称略)  
 ※大池幸男議員は3月12日付で議員を辞職しました。  
 ※松田議員は病気のため欠席、平松議員・曾根議員は、財産の無償譲渡(六合幼稚園)の議案審査の際、除斥となっています。

に留めるべきである。こうしたことから、税金や公共料金の値上げを抑え、必要なサービスを維持するために、今後続々予定されている大規模施設の整備の方針について再考を求めるとすると考え、この議案に反対する。

**賛成討論**

歳入・後年度の財政需要を勘案し、財政調整基金からの繰入金を抑制し市債は借入額を元金償還以下に圧縮し、自主財源の構成比は59・7%と、前年度と比べ3・13%上昇しており、財政の自立性と安定性に配慮したものととなっております。一方、歳出・消費的経費が、前年度と比べ、

0・51%の減となっております。主な理由は、「団塊の世代」の退職による大幅な増、児童手当など増がある中で、定員削減による人件費の抑制、需用費及び賃借料などの見直し等により、総額にして約8800万円削減し、行財政改革を進めている結果である。

伊太田地区の温泉施設建設事業は、地域資源を生かした、健康増進及

び伊太田地区における魅力ある地域づくりが図られるよう期待するものである。



# 平成19年度島田市予算総額 663億4683万円を可決！！

平成19年2月22日から3月23日まで、平成19年第1回島田市議会定例会が開催されました。主な内容は次のとおりです。

## H18年度補正

一般会計は歳入歳出それぞれ5億938万4千円を追加し、総額308億9886万7千円とし、主なものは、勸奨退職者に係る退職手当の増額、伊太田代地区温浴施設の実施設業務の中止による減額、国の補正予算による補助金を活用する心身障害児通園施設建設事業費などです。

特別会計では、国民健康保険事業で、出産育児一時金及び葬祭費の増額並びに財源の組み替えを行うものです。

## 条例・規約改正

島田市副市長定数条例では、地方自治法の一部改正により、これまでの助役に代えて副市長を置くとともに、副市長の定数について新たに条例を制定し、平成19年4月1日から施行するものです。その他、市議会議員選挙公報発行条例、監査委員条例、職員の給与条例、特別会計設置条例、政務

調査費の交付に関する条例など全部で13の条例を制定、一部改正または廃止をしています。

また、島田市・北榛原地区衛生消防組合、駿遠学園管理組合及び島田・榛原地区広域市町村圏協議会の規約変更では、それぞれ執行機関の組織に関する変更等を行うものです。

## H19年度予算

新島田市になってから2年目の当初予算となり、一般会計は295億2900万円、特別会計では8会計を合わせ224億5461万1千円、水道事業及び病院事業会計は支出ベースで143億6322万7千円となりました。これにより予算の総額は663億4683万8千円となりました。

3月2日予算説明会を皮切りに各議員が検討を重ねました。

厳しい財政状況の中で川根町との合併を見据えた将来構想実現に向けた諸施策の内容について、

3月14日の議案質疑では多くの議員からの質問が出され、白熱した議論が展開されました。また、翌日の各常任委員会においても慎重に審議しました。

歳入においては、景気が回復基調にあるとはいえ、税源移譲及び定率減税の廃止に伴う個人市民税をはじめとする市税の増はあったものの、地方交付税などの依存財源の減により厳しさを増しています。今後使用される合併特例債を含め、慎重な審議が必要です。議案は2月議会最終日の3月23日に賛成多数により可決しました。各会計の予算額は別表のとおりです。

## その他

財産の無償譲渡では、市立幼稚園の民営化に伴い、付属建物を含む園舎及びプール施設を無償で譲渡することが可決されました。

市道路線では、9路線・延長2685.5メートルを認定し、35路

## 議決結果一覧表

○全賛賛成で可決、同意または適宜と認める

H18年度島田市補正予算のうち

国民健康保険事業特別会計補正予算

土地取得事業特別会計補正予算

老人保健医療事業特別会計補正予算

公共下水道事業特別会計補正予算

病院事業会計補正予算

副市長定数条例

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

市道路線の認定

市道路線の廃止

島田市・北榛原地区衛生消防組合の規約変更

駿遠学園管理組合の共同処理する事務の変更及び規約変更

島田・榛原地区広域市町村圏協議会の規約変更

H19年度島田市予算のうち

国民健康保険事業特別会計予算

簡易水道事業特別会計予算

土地取得事業特別会計予算

休日急患診療事業特別会計予算

老人保健医療事業特別会計予算

公共下水道事業特別会計予算

介護保険事業特別会計予算

介護サービス事業特別会計予算

水道事業会計予算

病院事業会計予算

島田市長及び島田市議会議員選挙公報発行条例の一部改正

線・延長1万1684・6メートルを廃止しました。

特別委員会の設置では、新たに「議会条例等に関する調査特別委員会」を設置しました。

専決処分<sup>①</sup>の報告では、市長が専決した交通事故の和解など2件についての報告がありました。

**人事案件**

次の委員の選任に同意しました。(敬称略)

固定資産評価審査委員会委員

- 中村 修
- 小林章次

次の委員を推薦することについて適当と認めました。(敬称略)

人権擁護委員

- 菅沼隆二
- 望月匡孜
- 杉本正枝
- 飯塚清子
- 坂原哲次郎

## 平成19年度島田市会計予算額

(単位：万円)

会 計		金 額
一般会計		295億2900
特別会計	国民健康保険	85億8212
	簡易水道	3971
	土地取得事業	1億2000
	休日急患診療	1250
	老人保健医療	74億2108
	公共下水道	10億8033
	介護保険事業	51億3807
	介護サービス	6079
小 計		519億8361

企業会計		金 額
水道	収益的	10億2661
	資本的	6億0294
病院	収益的	116億6940
	資本的	10億6426
小 計		143億6322

合計 663億4683万円

(注) 表中の差し引き額の不整合は、万円未満切捨てに伴う端数整理によるものです。



**賛成多数で可決**

特別委員会の設置(議会条例等に関する調査特別委員会)

H18年度島田市一般会計補正予算  
 財産の無償譲渡(島田市立みどり幼稚園)  
 財産の無償譲渡(島田市立六合幼稚園)  
 H19年度島田市一般会計予算

※表決についての詳細は17ページの別表に掲載しています。

**その他**

専決処分(交通事故の和解)の報告  
 専決処分(交通事故の人身分の和解)の報告

監査委員条例の一部改正  
 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例  
 職員の給与に関する条例の一部改正  
 特別会計設置条例の一部改正  
 休日急患診療所条例の一部改正  
 道路占用料等徴収条例の一部改正  
 市営住宅管理条例の一部改正

一般廃棄物処理施設整備基金条例を廃止する条例  
 高速交通施設関連周辺環境整備基金条例を廃止する条例

手数料条例の一部改正  
 固定資産評価審査委員会委員の選任  
 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること  
 島田市議会議政務調査費の交付に関する条例の一部改正

## 特別委員会委員の紹介

### 議会条例等に関する 調査特別委員会

地方自治法の一部改正への対応及び議会基本条例制定に関する調査研究を行うため、特別委員会を設置しました。委員は次の12人です。

委員長	原木 忍
副委員長	津田 恵子
委員	平松 吉祝
委員	曾根 嘉明
委員	河原崎 聖
委員	大塚 修一郎
委員	坂下 修
委員	桜井 洋子
委員	飯塚 栄一
委員	中野 浩二
委員	富澤 保宏
委員	小澤 嘉曜



### 静岡県後期高齢者医療広域 連合議会議員選挙の結果

2月22日の当市議会での選挙をはじめ県下23市において選挙を行った結果、当市議会では次の議員が当選されました。

島田市議会議長

田島 建夫

### 島田市・北榛原地区衛生消 防組合議会議員選挙の結果

組合議会議員1人欠員による補充選挙を行った結果、当市議会では次の議員が当選されました。

島田市議会議員

津田 恵子

### 島田市議会議員の 辞職について

3月12日付けで次の議員より辞職願いが出され、許可されました。

島田市議会議員

大池 幸男

## 6月定例会の日程

第2回（6月）市議会定例会の日程は次のとおりです。本会議の傍聴におこしください。いずれも午前10時開会です。

6月 5日（火）	本会議（議案上程）	6月15日（金）	本会議（議案質疑）
6月12日（火）	本会議（一般質問）	6月19日（火）	常任委員会
6月13日（水）	本会議（一般質問）	6月27日（水）	本会議（最終日）
6月14日（木）	本会議（一般質問）予備日		

なお、この予定は変更されることがあります。

## 編集後記

平成19年2月定例会は、夕張市の財政破綻の影響を受けて、財政論議が活発に行われ、5年後、10年後、15年後の島田市の財政は大丈夫だろうか、データやシミュレーションを示して、市の考えをただしました。

その活発な論議の様子が議会だよりを通して、市民の皆さまに届けることができたらと、編集を行いました。市民の皆さんも、議会と行政のチェックのため、ぜひ傍聴においでください。



### 議会だより編集等に関する 特別委員会

委員長  
副委員長

木野慎吾  
桜井洋子  
平松吉祝  
曾根嘉明  
河原崎聖  
飯塚栄一

島田市議会事務局  
☎ 36-7204  
Eメール: gikai@city.shimada.shizuoka.jp